

日本橋モラロジー事務所 概論研究会（7）

義務先行

はじめに・ ・ ・ 結構難しい??

- 古来、人類は自ら幸福になる機会があったにかかわらず
自らその機会を抑圧／破壊してきた
- それを古来の先人は、その罪を贖わねばならないと問うて、
それを「贖罪」という
- しかるにわれわれは、その「贖罪」を背負って、それを解消する
ために、セッセと幸福な人生と安心と平和な社会を想像しな
なければならない、課題が課せられている。
それが「義務」である。

義務先行の意味と目的

- 義務先行と品性の完成
 - 人間は等しく幸福になるべし、そのためには幸福になることを遠ざける原因を取り除くべし
 - つまり・・・品性向上が義務であり、品性向上が責任である
- 贖罪としての義務先行
 - 過去の罪や無知を除くべく、叡智を身につけ積極的に罪や汚れを祓うべし
- 積善としての義務先行
 - 贖罪のみならず、積極的に善を増加させる（積善）べし

権利と義務の正しい理解

• 天賦人權説

• 天や自然から人類が与えられた普遍的な権利

- 1, 人は生まれながら自由であり、尊厳と権利において平等である
- 2, 人種、性別、など、人間の外形的な事柄については差別を受けない
- 3, 法のもとで平等であり、生命・自由、安全に関する権利及び国籍を有する権利がある
- 上記に対して、「全ての人はその人格の自由かつ完全な・・・社会に対して義務を負う」

• 権利と義務の円環

- 誕生から成長、生活、社会活動とう常に義務と権利が発生する

• 応答責任としての義務

- まわり（天や自然、社会、組織）の全てから求められることに対して、応答する責任が生じる→義務
- 公助、共助、自助など、様々な場面で責任が発生し、それに真正面から応えねば・・・

最義務先行の方法

- 応答責任の先行
 - 権利が発生する、権利が明示化する前から、何かしらの働きかけをする
 - 「労をも資をも神に捧げて施恩を思わず」――>品性向上に繋がる
- 自己本分の遂行
 - 自分自身の人生に重きをおき、大切にす
 - 人生を全うする責任の観点から、価値の高い人生を送らねばならない
 - 社会等のまわりから期待される自己の本分を十分に発揮する
 - 具体的には「勉強する」など、
- 運命の正受と改善
 - 運命には正対し、原因の如何を問わず、先を切り開くべし・・・

義務先行の効果

- 様々な外部要因による「耐性」が身につく
- 謙虚さ、平静さ、忍耐強い等による「品性」が上がる
- 過去の思いより、現状&未来への活力を自ずと得る事ができる
- 静かなる勇気を得ることができる
「率先善を認め勇を鼓してこれを貫く」

だそうです！

プロアクティブとリアクティブ

- プロアクティブ (Proactive)
ビジネス用語－実際に行動を起こす
積極的に企画立案したり、
斬新的なアイデアを提案すること
「これこれ、やってみよう！！」
- リアクティブ (Reactive)
ビジネス用語－実際に行動を起こさない
なにかが起ころまで行動に移さない
「だれかがやっているから、やってみようかな！」

プロアクティヴとのメリットとデメリット

• デメリット

- 前例がないので、新規に考えねばならない
- 面倒くさい
- 時間を取られる
- 上手くいくかどうか分からない

• メリット

- 経験ができる
- 自信がつく
- 勉強できる
- 世界が広がる
- 次なる世界へのパスポートを得ることができる